

地域防災マップ作成支援システム

子供たちによる危険箇所、避難経路などの情報入力と、国、自治体等から提供されているハザードマップや地形情報を重ね合わせ、防災への気づきを支援し、住んでいる地域の危険性と特性を学ぶことができます。

構成

OSSを利用したWebMapシステム
 サーバ側 : GeoServer
 クライアント側 : Heron - M C

背景地図 : 地理院地図
 ハザード情報 : 液状化、洪水、土砂災害、津波予想深、傾斜地など (公開データを多用)

機能

- 点、線、面およびコメントの入力
- ハザード情報との重ね合わせ表示
- 子供たちが登録した避難経路と浸水ナビの時系列データとの重ね合わせ表示により、臨場感を持たせました。



http://www.osaka-kanmin.com/bsi111/new3/cb_map/login.php

利用の流れ

- 組織単位での利用のため、IDとPASSが必要です。
- ソフトウェアは原則無償で利用できます。

事前調整

システム準備 対象地域用のIDとパスワードの登録(システム管理者に依頼)
 教育委員会、土木事務所等との調整
 ※ 当該自治体の防災計画等との齟齬が起らないように確認しておく
 地域のハザード情報(地震、洪水災害、土砂災害、津波予想深、傾斜地など)の確認
 ハザード情報がない場合は、安全マップ(防犯マップ)の作成に、切り替えても
 良いでしょう。
 事前学習用の対象地域の地図を用意
 ※ 夏休みの宿題等で白地図を事前に配布しておくことも有効



事前学習と操作練習

〈防災教育〉地元の土木事務所または市危機管理室
 〈システム画面の表示や簡単な使い方を練習〉
 〈白地図を配布・宿題〉
 ※ 通学路や日常生活で気付いた危険や気がかりな箇所を白地図に記入。
 ※ 家族一緒に災害への備えについて、話合ってもらい機会としても有効



防災マップ作成

〈PCルーム等〉
 ・1時限程度
 各自の避難ルートや気がかり箇所をシステムに登録
 ・登録後
 ハザードマップ等を重ね合わせ地域の危険性を学ぶ



清書

利用実績

大阪府富田林市立 伏山台小学校 (2016年9月)
 大阪府高槻市立 高槻小学校 (2015年11月)
 大阪府熊取町立 熊取南小学校 (2014年11月)

開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 (大阪府GIS官民協議会) 支援グループ
 問合せ先 (一社)大阪府測量設計業協会
 E-mail oosakass=oak.ocn.ne.jp (=を半角@にしてください)